

平成27年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

吉備ボランティアスキルアップ研修

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

当施設の活動プログラムを体験することとおして、活動内容や安全面について理解し、事業において適切な支援ができるようになる。また、吉備ボランティアとしての資質や能力の向上を図り、ボランティア活動に対する意欲を高める。

2. 事業の概要

(1) 期日

平成27年6月27日（土）～28日（日） 1泊2日

(2) 参加者

①募集対象・人数

吉備ボランティア（継続者対象）・30人

②参加者

8人

(3) 講師等

国立吉備青少年自然の家 企画指導専門職

廿日市市キャンプキャンプ協会理事長 黒田 幸保 氏

深坂自然の森 森の家下関 所長 井上 桂 氏

(4) 企画・運営のポイント

ボランティアの知識と技術の向上として次の3点を挙げてプログラムを構成した。

- 吉備での様々なプログラム体験をとおして、教育事業で適切な支援ができるようになる。
- 仲間と協力することの大切さや仲間の良さを感じることができる。
- 年度末に実施する「子どもゆめ基金」助成事業で今回の研修を生かせるプログラムとした。

3. 活動の内容等

6月27日（土）		6月28日（日）	
9:00	受付	6:15	起床・洗面
9:15	開講式	7:15	朝のつどい
9:30	実習1 アイスブレイクについて	7:30	朝食・荷物整理
12:00	昼食	10:00	実習4 ツリーイングについて
13:30	実習2 カッター活動について	12:30	昼食
17:15	夕べのつどい	13:45	講義 リスクマネジメントについて
17:30	夕食	15:45	閉講式
18:30	実習3 キャンプファイヤーについて		
21:00	入浴		
22:00	就寝		

(2) 活動状況



【アイスブレイク】



【アイスブレイク】



【アイスブレイク】



【アイスブレイク】



【カッター漕艇】



【カッター漕艇】



【櫂立て】



【櫂おさめ】



【キャンプファイヤー】



【キャンプファイヤー】



【ツリーイング】



【ツリーイング】



【リスクマネジメント】



【リスクマネジメント】

4. 成果・課題

(1) 満足度

100%

(2) 参加者の声

- ① アイスブレイクでは、何の目的でレクを行うのか理論を学ぶことができ、ただ楽しく盛り上げるのではなく次のプログラムとの関連を考えてゲームを選択することが分かった。
- ② リスクマネジメントではいついかなる状況で事故やケガが身近に発生するかわからないことを知り、いざという時の初期対応の大切さや正しい知識とスキルを学んでおく重要性を知った。

- ③ ツリーイングは実際に体験することで仕組みや気を付けることなどを理解できた。
- ④ カッターでは実際に舵をとり、右や左に曲がる貴重な経験とオールをそろえることのむずかしさを痛感した。子どもへの声かけのタイミングの大切さが分かった。

(3) 成果

- ① 「子どもゆめ基金」で助成を受けてボランティアが自主企画事業を行う際に、今回の活動のスキルや知識を生かすことができる。
- ② リスクマネジメントの講義ではAEDの使い方や怪我の初期対応について学んだ。このことは吉備での活動はもちろん他の場所でも役に立つ有効なものだった。

(4) 今後の課題

- ① 必要性和募集期間を十分にとって参加ボランティアの確保が必要である。
- ② 1泊2日では5つのプログラム構成が精いっぱいなので、ボランティアにとって有意義なプログラムの選択が必要である。

担当：企画指導専門職 河本 潤